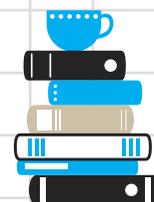


事業所における自己評価総括表(公表)

COMPASS 発達支援センター中津



| | | | | |
|---------------|-------------------|----|--------|-------------|
| ○事業所名 | COMPASS発達支援センター中津 | | | |
| ○保護者評価実施期間 | 令和7年 9月 10日 | | ～ | 令和7年 9月 27日 |
| ○保護者評価有効回答数 | (対象者数) | 17 | (回答者数) | 17 |
| ○従業者評価実施期間 | 7年 9月 17日 | | ～ | 7年 10月 18日 |
| ○従業者評価有効回答数 | (対象者数) | 7 | (回答者数) | 7 |
| ○事業者向け自己評価作成日 | 令和7年 10月 17日 | | | |

○分析結果

| | 事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等 | さらに充実を図るための取組等 |
|---|--|--|---|
| 1 | COMPASSでは全国に事業を展開しており、系列事業所との連携があります。 各担当者が会議や勉強会をおこなっており、事例検討なども含めて多様な視点からの意見を取り入れて、計画書や日々の療育に取り入れております。 | 各担当ごとに事業部内で担当グループが形成されており、担当グループ主体での会議や勉強会が実施されています。 複数の地域に事業所があるので、不明な点などは指定権者に確認をし、法令に沿った事業所運営をおこなっております。 | 児童が楽しみながら通える事業所、成長を感じられる事業所、安心して通える事業所を常に考えながら、決められたルールを遵守し、取り組んでまいります。 |
| 2 | 言語面では、口の体操から始め、発語の練習や読み書きなど、一人ひとりのニーズに合わせた活動をおこなっております。 また、SST(ソーシャルスキルトレーニング)を取り入れながら、社会生活を送るうえで必要な「見る・聞く・考える・伝える」力を育てております。 | 個別活動では言葉の獲得、集団活動ではコミュニケーションスキルの向上を目的として療育をおこなっております。 まずは、さまざまな物の名前を知ることから始め、実際の会話の中でどのように使うか、その場面に適した言葉遣いが身に付くようSSTを実施しております。 | 送迎時や来所時から療育が始まっているという意識を持ち、関わりを深めることで、会話や適切な表現が自然と身に付くよう支援してまいります。 |
| 3 | | | |

| | 事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等 | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等 |
|---|--|---|---|
| 1 | 各ご家庭単位では情報共有等の連携ができておりますが、父母の会等の交流会の開催ができておりません。 | 保護者交流会の開催に関しましては、平日では参加できる保護者に限りがありますので、土、日、祝日等事業所の閉所日で設定する必要があります。 従業者の振替休日を勘案すると、平日の受け入れ体制に影響が出てしまうため、要検討課題と考えております。 | まずは保護者様へ意向の確認をおこない、実際に集合しなくても情報発信ができる方法等を模索していく必要があると考えております。 |
| 2 | 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営ができておりません。 | 地域住民の方を招待することに関しましては、現在の事業所の体制上では難しいと考えております。 | 地域でおこなわれているイベント等への参加がまず取り組める方法であるかと思っておりますので、そのような情報を集約していきながら、地域の方と関わる機会を設定していけるよう検討してまいります。 |
| 3 | | | |

